

LESSON 32

ご提示いただいた提案書に記載されている業務課題を、「ムリ・ムダ・ムラ」の視点に分け、それぞれに対する「ECRS（排除、結合、交換、簡素化）」の観点からの改善の方向性として整理しました。

1. ムリ（過負荷で限界を超えている状態）

- ・ 課題: 2人夜勤体制の際に急変対応とナースコールが重なると、対応しきれず「限界を超えた状態」になる。また、夜勤明けに2～3時間の残業が常態化し、体力的・精神的な負荷がかかっている。
- ・ ECRSでの整理 (Simplify / Rearrange):
- ・ 人員を増やすことは難しいため、対応の優先順位ルールを明文化し、判断プロセスを簡素化（Simplify）することで、その場での心理的・業務的負荷を軽減する。

2. ムダ（重複など付加価値を生まない作業）

- ・ 課題①: 夜勤開始時の申し送りに毎回1時間～1時間15分程度かかっている。記録にすで書いてある内容をそのまま口頭で読み上げている。
- ・ ECRSでの整理 (Eliminate):
- ・ 記録の読み上げという二重の伝達を排除（Eliminate）し、申し送り時間を短縮する（目標15分程度）。
- ・ 課題②: 紙の記録と電子カルテの両方に同じ内容を入力する「二重作業」が発生しており、入力だけで30分以上かかる日がある。
- ・ ECRSでの整理 (Eliminate / Combine):
- ・ 紙か電子カルテのどちらかへの入力を排除（Eliminate）する、あるいはシステム内で情報を結合（Combine）して一度の入力で済むようにする。

3. ムラ（人によってやり方や基準が異なる状態）

- ・ 課題①: 夜間の与薬準備において、声出し確認、黙視、チェックリストの使用など、スタッフによってチェック方法にばらつきがある。
- ・ ECRSでの整理 (Simplify):

- ・ 属人的になっている確認手順を見直し、ミスを防ぐための標準的な方法へと簡素化・統一（Simplify）する。
- ・ 課題②: 複数の呼び出しが重なった際の優先順位の判断が個人の裁量に委ねられており、対応にばらつきや事後の不安が生じている。
- ・ ECRSでの整理 (Simplify):
- ・ 各自の判断に頼るのではなく、優先順位のルールを明文化し、誰が対応しても同じ基準で動けるように判断基準を簡素化・標準化（Simplify）する。

この整理をもとに、この課題解決に向けた具体的なアクションプランや提案資料（スライドなど）を作成しましょうか？